

誰もが、誰かの
きっかけに。

SOU 創発 HATSU

人気ゼミを
のぞいてみた。



“**尖った
卒論**”を
書こう。
さて、**どうする？**

in
藤澤ゼミ

経営学部
藤澤 宏樹教授

p.02>>

p.14

創立
90周年

記念事業
活動報告

p.16 大樟会だより

SOUHATSU

p.18 news & topics

とびだせ！

キャンパス！

産学連携
プロジェクト

p.12>>

SOUHATSU 的 教授紹介

“**位置情報**”で
未来を先読み!?
p.04>>

卒業生・在校生“創発”アンケート

一問多答

同窓生に聞きました

“チームで活動するメリット”は?

p.06>>

広報隊がゆく!

山本学長に

90の
質問してみた!!

p.08>>

イベントレポート

大経大 スタート・アップ
シンポジウム

“**アントレ
プレナー**”
という生き方
p.10>>



中野 智哉氏
株式会社i-plug
代表取締役CEO



松本 直人氏
株式会社ABAKAM
代表取締役社長



渋谷 順氏
大阪経済大学客員教授/
株式会社スマートバリュー
取締役兼代表執行役社長



山岡さんの場合

テーマ

何が目的？ 日本の運動部活動

山岡：僕は、「日本の運動部活動の特異性」について調べています。諸外国と比較すると、日本の部活動は、学校教育の一環とされる点が大きな特徴。そして、それによって出てきた問題が多数あります。教師の負担が話題だったこともあり、文科省では「学校における働き方改革」に着手していますが、実際どうするべきなのか、海外事例を見ながら考えてみたいです。

藤澤：休日に長時間部活をするのはいかがだろうという意見はもっともだけど、一方で勝つためにはある程度時間をかけないといけないこともありますよね。みなさんはどう思いますか？

西川：精神面での教育だから、別に勝たなくてもいいと僕は思います。

大塚：部活の目的は人間教育だと思います。

村上：うーん、僕は勝つためだけに部活をしていたので、「勝たなくてもいい」とは思えないです。

山岡：欧米では地域のクラブチームが発展していて、競技をしたい・強くなりたい人は学校ではなくクラブチームに所属するみたい。

藤澤：競技にもよるけど、クラブチームに所属するってことは、家庭に経済的負担がかかる。そのあたりの観点からも調べてみると、論文に厚みが出そうですね。



木村さんの場合

テーマ

奈良から考える、 景観規制のあり方

木村：僕は奈良県出身です。奈良は文化財保護の観点から、景観規制が厳しいと言われています。幼い頃は「面白い建物や商業施設がなくてつまらない」と思っていたんですが、神社仏閣に興味を持つようになったら景観規制の必要性も感じるようになりました。じゃあ他の地域や海外ではどうなんだろう、と興味を持っています。

吉川：景観規制って、そもそも知らなかった……。そんなのがあるんだ。

道添：京都も景観規制がかなり厳しいよね。

木村：そう、「景観法」という法律があるんだけど、どの範囲でどのレベルで規制するかは各地域の条例などによる。国内では、世界遺産がある地域などを中心に、これから詳しく調べようと思っています。

藤澤：うん、テーマはいい。でももっと尖らせていく必要があるね。卒論のテーマとして、「社会にとって大事だからやる」のはもちろんだけど、それだけでなく「大事だけど、あまり人が気づいていないことにフォーカスする」のがオリジナリティを出すポイントです。例えば、景観規制の“失敗例”を調べてみるとか。単純に地域別に比較する以外の取り組み方も考えてみてください。きっと面白くなりますよ。



山田さんの場合

テーマ

情報社会における 女性の美意識の変化

山田：「情報」が「女性の美意識」にどんな影響を与えているのか調べようと思っています。テーマを選んだ理由は、私自身がダイエットをする際、とある情報を鵜呑みにして体調を崩してしまった経験があるから。健康情報の正しい発信・指導方法、受け取り方などを提案できたらと思っています。

久保田：今は情報発信者への規制みたいなものは、ないのかな？

山田：憲法で「表現の自由」が認められている以上、好き勝手に情報発信する人たちを規制するのは難しいと思っています。保健所とか学校とか、公的な機関の広報力を高める方法があればいいなと思っています。

藤澤：このテーマ、すごく面白いと思います。情報リテラシーという観点だと教育の話になりそうですが、美意識に焦点を当ててもいいかも。みんなが「痩せなきゃいけない」と思い始めたのはいつからなんだろうね？

山田：日本では、1960年代にツイギーの来日で「ダイエット」という言葉が注目されるようになったらしいです。最近では韓国系の芸能人の影響も大きいと思います。

坂根：逆に、「外見に囚われるべきじゃない」ってルッキズムへの批判を発信する人もいますよね。

藤澤：うんうん、ルッキズムの歴史を深掘りしても、面白くなるかもしれませんね。

Advice!

卒論では “理想”を語るべし！



卒論を進めるにあたっては、ぜひみなさんに理想を語ってほしいです。興味があって選んだテーマだからこそ、「もっとこうしたら良くなる」「こんな社会にしたい」「こんな社会になったらいいな」という理想の状態を考えてみましょう。それが、論文の結論につながります。

また、文献やデータをしっかり調べるのは大前提だけれども、それだけでなく自ら動いて「現場の声」を聞くようにしてほしいです。教育の理想を語るのであれば、教育現場の声を聞くべき。実態を知ることで、“重要だけれどあまり注目されていない課題”を見つけられるかもしれません。卒論にリアリティとオリジナリティをもたらし、質を向上させられるでしょう。ぜひ、みなさんの問題意識を社会の実態と照らし合わせて、理想を掲げてください。



尖った卒論を書こう。さて、どうする？

経営学部・藤澤宏樹ゼミの研究領域は「教育・福祉・憲法」。3年生たちは秋学期後半から、卒業論文へ向けて各自の興味関心のあるテーマを設定します。オリジナリティのある卒論にすべく、ゼミ生や先生が議論の様子をお届けします。

「へえ」と言いたくなるトリビアから最新研究まで、教授の専門分野について聞いてみました！今回は、経済学部 榎山准教授による「空間情報学の話」です。

LOCATION INFORMATION “位置情報”で未来を先読み！

生活に身近な場面でも 活かされる“空間情報学”

「データサイエンス」という言葉がトレンドワードのようにありますが、データを元に知見を得るという手法は以前からあります。重要なのは、データサイエンスの知識や技術を、社会課題の発見や解決、ビジネスの視点に立って適切に運用できるかどうかという点だと思います。

情報やデータという言葉は、示す範囲が広い漠然としたイメージでしょう。けれど私が専門としている「空間情報学」は、位置情報のついたデータが研究対象。案外身近な学問なんです。例えば、**ここから駅へ行きたい時にはスマホでルート検索しますよね。あれも空間情報学。**どうやっていけば、うまく最短経路でいけるのか、データを元に導き出している訳です。地図上に何らかのデータを付加して分析することで、空間的な側面から課題を発見し、分析やシミュレーション、課題解決することを目指しています。新型コロナウイルスで緊急事態宣言が発令された頃はよく「品川駅の人出が何%減少しました」というニュースがあったかと思いますが、ああいったことも研究対象になりますので、社会と直結した学問分野とも言えるかもしれません。



都市の人流・物流を モデル化して、 誰でも使えるようにしたい

今私が興味を持ち研究しているのは、都市における人や車の移動をモデル化して、コンピュータ上で再現する、というものです。例えば、都市計画をする上では「この土地にこんな施設があったらどうなるだろう」と検討する必要があると思います。そうした際に、人流をシミュレーションすることができれば便利です。最近流行りの言葉で言えば「デジタルツイン」です。デジタル上に実世界の物理環境を再現して、さまざまなシミュレーションや分析を行い、それを実社会に役立てる。そんなシステムの構築に関心がありますし、面白いなと思っています。

実際のところ、リアルな位置情報を取り扱うのはなかなか大変です。取得や管理するのに莫大なコストがかかりますし、データのサイズが大きく複雑なので扱いにくい。それを解決するのが、オープンデータという考え方です。国が公表している統計データや、一部研究者が公開しているデータを組み合わせることで、擬似的な移動モデルの精度を高めたいと思っています。将来的には、**私が作った移動モデル自体もオープンにして、他の研究者と改良していったり、誰でも使えたりできるプラットフォームを構築したい**と思っています。それを使って簡単にシミュレーションできたら、「Aをしたら人はこう動く、Bをしたらこう動く」という予測ができて、未来を先読みできるかもしれませんね。公共事業やビジネスにも活用できると思います。



ゼミ生に機会を作ることが、 私の役目

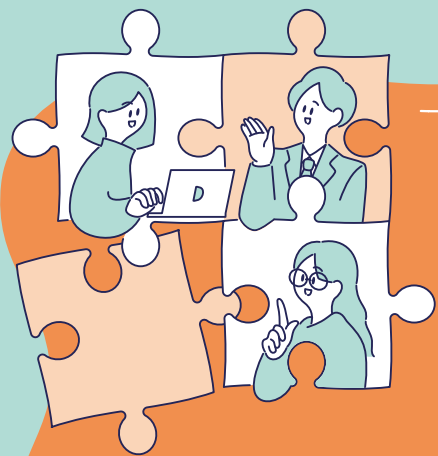
2022年4月に着任したため、私のゼミ生は3年生のみ。手探りでゼミを進めています。心がけているのは、「私はこれに興味を持っていますよ」とさまざまな事例や研究を紹介することです。私自身、大学1・2年生の頃に明確に「この研究がしたい」という想いはなく、たまたま入った研究室が空間情報学専門だったことからその面白さに目覚めて、現在に至ります。だからこそゼミ生には、せっかくなら何かに興味を持って知識や技術を十分に身につけてほしい。そのため、演習の時間以外にプログラミングや統計の勉強会を任意参加で実施しています。文系学生は数学的分野へ苦手意識もあつたりしますが、**思った以上にゼミ生の意欲が高く、嬉しい**ですね。理想としては、一人ひとりがデータサイエンスの基礎スキルをしっかりと習得して、みんなが学会発表できるレベルの研究をすることです。さまざまなチャンスを作ることが、私の役目だと思っています。

PROFILE

経済学部
榎山 武浩 准教授

関西大学大学院総合情報学研究科博士課程修了。東京大学生産技術研究所等を経て、2022年より本学経済学部にて准教授として着任。人や車両等の移動の分析や行動モデリング、コンピュータビジョンを用いた都市のモニタリングに関する研究を行う。





効率面

チームでの**役割分担**によってパフォーマンスを最大に発揮できる。得意なことは各々の力で、苦手なことは協力して進められるので、遅延なく成果物を完成させられる。

(2016年卒/教育/事務)

高い**クオリティ**を維持できること。個々の経験や考え、意見を出し合えばより良いものが完成する。

(2013年卒/IT/事務)

情報の共有ができること。また、苦手分野を補い合えること。

(2016年卒/メーカー/営業)



成長面

責任感が高まることによる**人格形成**と、**多様な価値観の広がり**を得られること。個人の活動や仕事でも、この観点を意識するのは重要だと思う。

(1989年卒/保険/損害サービス部)

個人で仕事をしているだけでは分からない**自分の長所・短所**が明確になること。これは今後の自己成長やチーム成長の課題解決にもつながると思う。

(2013年卒/保険/営業)

自分のミスに気づき、それを修正できること。

(2017年卒/医療/事務)

卒業生・在校生「**創発**」アンケート
一問多答

思考面



様々な意見や考えのおかげで、あらゆる**想定**ができること。私は、気になる内容があれば素人目線として割り切ってディスカッションしています。

(2019年卒/半導体/営業)

インプットと**アウトプット**どちらも行えること。

(2019年卒/アパレル/営業・販売)

自分にはない考えを持つ人や、自分の意見に共感・反対してくれる人がいるので、**より良い答え**を導き出せることが**メリット**だと思います。

(2019年卒/商社/営業)

チームで活動する**メリット**は?

同窓生に聞きました!



大阪経済大学のスローガンであり、本誌のタイトルでもある「**創発**」。この言葉をテーマに、卒業生75名へアンケートを実施。みなさまのバラエティーに富んだ回答を掲載します。今回は「チームで活動する**メリット**」について聞いてみました!

精神面



喜び、悲しみを一緒に分かち合えること。帰属意識から安心感も生まれ、苦手なことでも逃げずに頑張ろうと思える。

(2013年卒/金融/事務)

意欲的なメンバーが集まっているチームの中で、自分も**負けじと頑張**れること。

(2018年卒/通信機器/営業)

モチベーション維持につながること。

(2019年卒/住宅/営業)

自分だけの考えに囚われることなく、**より多くの可能性**を追求できること。

(1992年卒/金融/事務)

チーム内で**教え合**えること。

(2013年卒/メーカー/技術)

チームで活動すれば、得られる利益はより多くなる。それに伴い**損失も多くなるが、それを減らす**のもまたチームの**メリット**だと思う。

(2018年卒/サービス)

仕事を分担することで、それぞれに**責任感が生ま**れること。

(2016年卒/建設/配管工)

山本学長に90 Questions for president Yamamoto 質問してみた!!

広報隊がゆく!

このページは、学生広報隊が企画・編集しています。私たちの「知りたい」「やってみよう」を原点到、大学の情報をお届けします!



I'll answer!

2022年、大阪経済大学が創立90周年を迎えたということで、山本俊一郎学長に広報隊が気になる90の質問をしました。山本学長の普段のお仕事、プライベートでの生活、学生時代のこと等々、学長がどのような人物なのかをインタビューしました。そのうち紙面ではインタビューの一部をお届けします。

Q1.

山本学長の学生時代はどのような感じでしたか?

とにかく音楽が大好きな学生でしたね。音楽は中学の頃、従兄がエレキギターを弾いているのを見て、カッコいいなと思って始めたんですよ。始めてからは、とにかくギターを弾いて歌いまくっていたので、身内からは、「うるさい(怒)」と言われていました(笑)。同時に、ピアノも中学から4年間続けていました。高校でも、音楽を続けて文化祭でライブをしたこともあります。

Q2.

座右の銘を教えてください。

柔軟と寛容ですね。言葉通り、柔軟かい柔軟と広い心を持つ寛容という意味です。これは大学時代のゼミの先生の言葉でずっと言い続けています。大学院時代の経験から、新しいものを生み出したり、なにか面白いことを考えたりする発想の柔軟性だけは、**負けないような武器**にしようと思っています。

Q3.

人生で最も影響を受けた人物は誰ですか?

兄ですね。大学に受かったときからずっと尊敬しています。兄は大学卒業後就職したけど、脱サラして今はカフェを営しながらゆっくりしています。カフェの内装は古民家を1人で5年かけて改装して作ったものなんです。親からは反対されていたけど、僕は**すげえなって思っています(笑)**。実践するって難しいことなんです。そこをやっていく兄の実践力は本当に尊敬しています。



Q4.

創立90周年ということで、大経大の誇りに思うことを教えてください。

まず**続いていることがすごいこと**だと思います。そう簡単にはできないので、それだけで誇りですね。また、大経大は緑レンジャーのイメージがあります。前面に出たり、頭が切れたりするわけではないけど、そこにはない完全ではないような立ち位置だと思うからです。そこで着実に積み上げているという魅力があります。しかし、緑レンジャーが活躍する物語があるように、**就職などの強み**では前に出る部分も誇りに思います。

Q5.

これからチャレンジしたいことを教えてください。

「大阪経済大学はすごい」と広めていきたいです。他の大学の方とお話したときに、「学長すごく前面に出ていますよね」と言われて。僕が前に出るのは本当は嫌だったんですが、若さを武器にあえて僕が出て「大経大は変化している」と**どんどん伝えていくことが仕事**だと思いました。コロナ禍ではPRする役回りを果たせなかったで、これから僕が広告塔になって自信を持って大経大を広めたいです。

残りの85問は広報隊noteで掲載しています! こちらもチェックしてくださいね。



【担当】大嶋・大谷・小泉・濱端・守屋・岡田

シリーズ第2弾

穴場スポット

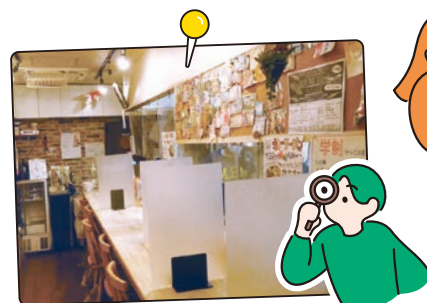
~KÜCHE 編~

大経大周辺の穴場スポットを紹介!!

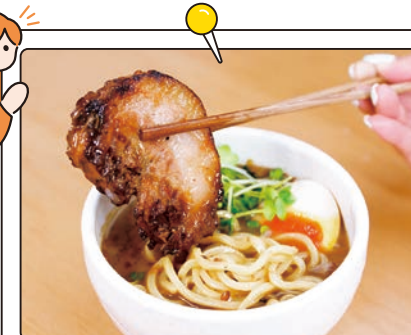
第2弾は元イタリアンシェフが経営する進化系ラーメン屋

『KÜCHE』取材しました!

【担当】樺木、多々納、森本



KÜCHEは大経大から徒歩10分ほど、上新庄駅周辺にあるラーメン屋。店主自身も上新庄の出身で、上新庄の台所的な、心温まる笑顔の絶えない場所を目指して「KÜCHE」(ドイツ語で台所という意味)の名前を付けたそう。



POINT 人気商品は「つけKURO」。ひとつひとつの具材が丁寧に作られており、大盛りには学割もついているのでお腹いっぱい食べることができます。新商品のカレーラーメンもおすすめです!

KÜCHEのこだわりポイントは、元イタリアンシェフならではの「イタリアン×ラーメン」をコンセプトにした他では味わえない唯一無二の味。**濃厚なのにあとを引く**、魚介と豚骨ベースのスープが中太の麺によく絡む! そんな箸の止まらないおいしさをぜひ味わってください。

KÜCHE(クーシェ)

開店時間 11:30~15:00, 18:00~22:00
(21:45 ラストオーダー)

定休日 水曜日

住 所 大阪府大阪市東淀川区瑞光1-5-32

TEL 06-6732-9133



“アントレプレナー” という生き方

2023年1月16日(月)、経営学部主催・アントレプレナーシップ塾共催にて、公開特別講座が開講されました。コーディネーターに本学大学院経営学研究科修了で本学客員教授の渋谷順氏、スピーカーに中野智哉氏、松本直人氏をお迎えし、起業家という生き方についてお話しいただきました。起業を目指す方にはもちろん、そうでない方にとっても深い学びの場となったシンポジウムの一部を、SOUHATSU紙面でレポートします。

第1部

江島由裕経営学部長のオープニングで本講座が始まり、第1部はスピーカーお二人の起業家人生をプレゼン形式でご講演いただきました(司会:辻晶子経営学部長補佐)。現在までの紆余曲折や、アントレプレナーシップについて、学生にもイメージしやすい言葉で語っていただき、共感を呼びました。

「起業家という 楽しい人生」

一部抜粋・編集

SPEAKER:
中野 智哉氏
株式会社i-plug
代表取締役CEO



親 の教えは「知的好奇心・愛嬌を持って」。それを拡大解釈してしまった私は、ワクワクすること以外やらず、ニコニコしていれば最後はなんとかなると思う、異常な楽観主義者でした。人生で様々な「しじり」や「変化」を経験しています。ブラック企業への入社とニート生活、転職先でのトップセールスと我流の限界、そして仲間と起業したi-plugでの資金ショートの大危機。ですが、失敗や環境の変化はチャンスでもありました。おかげで現在会社は大きく成長し、従業員約180名、東証グロース市場に上場しています。

ハーバードビジネスレビューによると、アントレプレナーシップとは「コントロール可能な資源を超越して機会を追求すること」だそう。例えば今財布に入っているお金がコントロール可能な金額だとしたら、誰かから借りることが、「超越する」ということ。他人にお金を借りてでもチャンスがあれば挑戦する。これって起業しなくても持てるマインドなんですよ。一人ひとりが考えて動くことで、日本はもっと良くなるんじゃないかな。ぜひ、しじりも含めた『変化』を、チャンスに変える一歩を踏み出してほしいです。

新

卒入社したフューチャーベンチャーキャピタルで、2016年代表取締役社長に就任しました。社長就任後は数々の困難にぶつかりましたが、社員の満足度が高い良い組織に成長できたと思います。しかし株主総会で経営陣入替が提案されて社長退任、いわば会社をクビになってしまいました。現在は、新しい会社を立ち上げ代表を務めると共に、顧問や社外取締役として20社以上の企業経営に携わっています。

社長をクビになったのにいろんな方に声をかけていただけるのは自分自身に「希少性」がある、つまり人と違う生き方をしているからだと思います。人と違うことをするのは不安でし、恥ずかしいと感じるかもしれない。でもこれからの時代、人と同じであることの方がリスクです。私は「自身の価値=希少性×貢献度」だと考え、希少性を高めることを意識してきました。人と違うことをするには、自分の頭で考えることが重要です。おかしいと思うことをおかしいと言う。そうすることで、共感してくれる仲間が集まったり、課題解決につながる大きな力が生まれたりすると思います。私自身まだ挑戦の途中ですが、希少性を生かして社会に貢献していきたいです。

「人と違う 生き方をする」

一部抜粋・編集



SPEAKER:
松本 直人氏
株式会社ABAKAM
代表取締役社長

神戸大学経済学部卒業。フューチャーベンチャーキャピタル株式会社に入社し、2016年に上場金融会社として最年少で代表取締役社長に就任。約50本、総額240億円のファンドを設立する。2022年に社長を退任、株式会社ABAKAM設立。

MEMBER PROFILE

[SPEAKER]



中野 智哉氏
株式会社i-plug 代表取締役CEO

中京大学経営学部経営学科卒業。10年間求人広告市場で法人営業を経験し、2012年4月に株式会社i-plugを設立。新卒ダイレクトリクルーティングサービス「OfferBox」を運営。2021年東証グロース市場に上場。

[SPEAKER]



松本 直人氏
株式会社ABAKAM 代表取締役社長

神戸大学経済学部卒業。フューチャーベンチャーキャピタル株式会社に入社し、2016年に上場金融会社として最年少で代表取締役社長に就任。約50本、総額240億円のファンドを設立する。2022年に社長を退任、株式会社ABAKAM設立。

第2部

第2部は起業家という人生の選択についてディスカッション。事前打ち合わせなしのライブ感溢れるやりとりは、関西出身起業家として普段から交流のあるお三方の関係性や、本音が垣間見える貴重な機会となりました。

(CROSS TALK

コーディネーター・渋谷氏の
質問にお二人がアンサー

コーディネーター
渋谷 順氏



渋谷

生き方を考えた時に、「時間の使い方」ってすごく大切ななと思っていて。限られた資源だからこそ、納得できないことに時間を使われるのはもったいないですよ。お二人の時間に対する感覚を聞きたいです。



中野

ワクワクすること以外やらない人間だったので、無駄なことに時間を使われることを最初から避けているかもしれませんが。高校時代、得意な数学は常に満点でしたが他教科は全く勉強しないで全滅、といった極端な成績でした。じゃあ「全力で遊びたいけど単位も取らなきゃ卒業できなくてヤバイ!」となった大学4年生のときはどうしたかという、睡眠時間を削りました(笑)。資源を増やすというアプローチですね。……参考にならないか。



松本

私もできるだけ嫌なことはやらないタイプといいますが、放っておくとだらける性格なので、時間管理や計画立てることはとても苦手です。でも苦手だからこそ、あえて自分で期限を決めるように意識していますね。現在も「45歳までにこうする」という目標を立てています。



渋谷

先のスピーチに、仲間と物事を進めていくお話がありました。起業家として我を通す部分と、周囲に納得してもらうというか、利他的な部分のバランスって難しいと思います。日頃気にしていることはありますか。



中野

楽しいところに人が集まると思っていて、そのためには自分が楽しくないといけない。僕にとっての楽しいことは、誰かがワクワクすることです。だから、誰かをワクワクさせて僕も楽しくて、さらにそこに人が集まってくるような循環ができれば一番です。ただ僕も聖人じゃないので常にそうできるわけじゃない。自身に緩みがないか気付けるよう、意識しています。



松本

FVCでの社長時代は、自分で考え「こうすべきだ」と信じることを周囲に言い切りました。最初は社員の誰もついてきてくれませんでした。でもそれって決して悪いことじゃないんです。彼らが彼ら自身の頭で考えているということ。そして「社長の言うことも一理あるな」と思ってもらえたら、そこからは行動するのみです。そうして結果が出るようになったことで、みんなに納得してもらえたと思います。

最後に

最後は参加者からの質問タイムに。「起業の際のリスクヘッジは」「信頼できるパートナーをどう見つけるのか」などの起業を見据えた質問には、体験談を交えてご回答いただきました。「日本中のチャレンジしている人たちとご一緒に、登壇者の私たちももっと成長したいと思っています。本日お越しの皆さんともご一緒にできる機会があると思いますので、またお会いしましょう」という渋谷氏の言葉で本講座は締めくくられました。

? ENTREPRENEURSHIP-Juku ?

アントレプレナーシップ(ENT)塾とは?

起業、ベンチャー、起業家などに関心がある本学生を対象にした、正課外の塾です。塾長はアントレプレナーシップ研究の第一人者である経営学部の江島由裕先生、塾長補佐は同学部の水野未宙也先生。多くの起業家や経営者も講師やメンターとして参画しています。単なる起業ノウハウを学ぶ塾ではなく、事業創造プロセスの理解と実践に関わる一連の学びに深く関わることを通して参加者の成長を目指しています。

[COORDINATOR]

渋谷 順氏

大阪経済大学客員教授
株式会社スマートバリュー 取締役兼
代表執行役社長



1985年に父親が経営する町工場、株式会社堺電機製作所へ入社。三代目経営者として、町工場から情報通信サービス事業へと事業領域の転換を図り、2018年には東証一部への上場を果たす。大阪経済大学大学院経営学研究科修了。

Wikipediaの企業ページを 学生が作成・編集！

経営学部で開講している地域企業連携実習(担当：福岡准教授)では、大学と地域企業を結び、地域人材の育成を進める「志プロジェクト」に取り組んでいます。2022年度は「企業のWikipediaを作ろう」という課題のもと、受講生が地元企業による出前講義を受けたり、現地訪問してヒアリングを行ったりしました。企業理解を深めた受講生はWikipediaに掲載する内容をまとめ、実際に公開します。(2023年2月公開)



株式会社アピックスほか×経営学部

CLUB&CIRCLE

将棋で地域活性化！

大阪市生野区×学生サークル

2022年12月、生野区まちづくりフェアの一企画として将棋イベント「生野区VS大経大」が行われ、本学将棋部と生野区の「生野将棋クラブ」が対戦しました。イベント告知や運営は将棋部員が実行。当日は小学生から70代までの将棋愛好家が参加し、将棋を通じて地域交流が深まりました。

CLUB&CIRCLE

和歌山県湯浅町の水で、
おいしいコーヒーを提供！

和歌山県湯浅町×学生サークル

学生サークル「珈琲倶楽部」は和歌山県湯浅町と連携して、湯浅町の天然水「ゆあさの水」を使用したコーヒーをイベント等で提供しています。2022年10月に新神戸で開催された「VOLCAFE COFFEE EXPO 2022」(主催：ボルカフェ株式会社)では、2日間で合計199杯を販売し、好評を博しました。



ZEMI

Z世代の感覚で、
東淀川区の魅力を発信！

東淀川区地域住民グループ×古賀敬作ゼミ

経営学部・古賀敬作ゼミは、東淀川区が好きな地域住民グループによる「東淀川魅力発見プロジェクト」に参画。ゼミ生らは、まち歩きツアーへの参加や、地域の歴史についてのインタビューを通じて東淀川区への理解を深め、その魅力発信について検討しています。

産学連携プロジェクト

企業や自治体などと連携し、実践的に学ぶプロジェクトが増加中！「〇〇×大経大」で生み出される**“創発”**を一挙にご紹介！

SOCIAL COOPERATION

学生が南紀白浜の
「ふるさと納税返礼品」を
開発！

和歌山県白浜町との連携協定



2020年1月、本学は白浜町と連携協力に関する包括協定を締結。2021年度は学生が現地でフィールドワークを行い、温泉のある椿地区の魅力や課題を発見し、地域振興策を白浜町長らに提案しました。2022年度は南紀白浜の観光開発アイデアを白浜町長や南紀白浜観光協会に向けて提案。さらに、ふるさと納税の返礼品の開発プロジェクトも立ち上げられ、2023年3月5日に商業施設かみしんプラザにて販売会を行いました。

SOCIAL COOPERATION

あの「かみしんプラザ」が、
実践の場に。

かみしんプラザとの連携協定

2022年4月に本学はかみしんプラザと産学連携協定を締結。浅田ゼミ「くすのきエール・マルシェ」や、夏休み期間に地域の子ども向けに開放された自習スペースをボランティアクラブの学生が運営するなどの取り組みが実施され、学びの場・実践の場となっています。

SOCIAL COOPERATION

学生が高齢者に
スマホの使い方を指南

南海電鉄×社会連携課

人間科学部・高井ゼミは、南海電気鉄道株式会社と協働し、泉北ニュータウン地域の高齢者を対象にスマートフォンに関する悩み相談やLINEの使い方等をゼミ生らが教える「かんたんスマホ講座」を開催。デジタル格差解消を目的に、今後も他地域で講座を展開する予定です。

SOCIAL COOPERATION

廃棄される洋服から
作られた紙を学生がPR

サーキュラーコットンファクトリー
×
教育・学習支援センター

循環型社会の実現を目指し、洋服の廃棄物から紙をつくり活用する活動を行う一般社団法人サーキュラーコットンファクトリーと連携。2022年11月に開催された「ハルカス学園祭」にて、学生らが洋服から生まれ変わったグリーティングカード等を広報しました。

SOCIAL COOPERATION

学生目線で審査！
“働きがいのある企業”を表彰

大阪府経営合理化協会×社会連携課

一般社団法人大阪府経営合理化協会主催の「学生に教えた“働きがいのある企業”大賞」にて、「学生が選ぶ“働きがいのある企業”賞」部門の審査員を本学学生が務めました。表彰式では学生審査員が選定理由について話し、株式会社友安製作所に表彰状を授与しました。

KSCC

大阪市のスポーツイベントを、
学生がSNSで広報

大阪市経済戦略局
×
スポーツ・文化センター

大阪市経済戦略局スポーツ部との連携協定に基づき、大阪市のスポーツイベントをSNSで広報する「スポーツ大阪広報隊」を発足。写真部、映画研究会等の部員が参加し、第一弾として「大阪市長杯2022世界スーパージュニアテニス選手権大会」等の様子を発信しました。



KSCC

地域のイベント等で
演舞を披露

地域団体など×スポーツ・文化センター

地域団体等からの依頼を受けて、クラブ学生を派遣しています。2022年度は、東淀川区の歳末特別警戒隊の発隊式にて、吹奏楽総部とチアリーダー部が演舞を披露し、式に花を添えました。また、摂津市立別府小学校PTAの依頼で、陸上競技部による「かけっこ教室」を実施しました。



KSCC

各クラブの学生が、
地域の小・中学校にて指導

地域の小中学校×スポーツ・文化センター

2018年から継続中の「出前授業」。2022年度は、井高野小学校にて陸上競技部、ソフトボール部、バドミントン部が出前授業を実施。能勢ささゆり学園では、オリンピックで水泳を研究している人間科学部若吉浩二教授と水泳部員が、泳ぎの苦手を克服する「トビウオ教室」を行いました。

ZEMI

採用人数アップに向けた
広報アイデアを提案！

日本建設工業×弦間ゼミ

人間科学部・弦間ゼミでは、電力プラント建設のリーディングカンパニー日本建設工業株式会社と連携。これまでの広報活動を分析した上で、社員をキャスティングしたYouTube広告やSNS運用など、採用広報に関する新たなアイデア提案を行いました。

ロゴスコーポレーションへ
新規事業を提案！



2020年度からスタートしたPBL(課題解決型学習プログラム)では、企業が抱える課題の解決に、1~3年生がチームで取り組んでいます。2022年度は、アウトドア総合メーカーの株式会社ロゴスコーポレーションに参加協力いただき、「ロゴス・ウインター・プロジェクト ―冬の売上倍増に挑戦！―」というテーマで新規ビジネスプランを提案。独自リサーチや学生ならではの発想力が評価されました。

OUE 90th ANNIVERSARY DAIKEI 90th

大阪経済大学 創立90周年 記念事業活動報告

創立90周年記念を祝い、各種イベントを開催いたしました。



創立90周年記念式典

2022年11月3日(木・祝)

2022年11月3日(木)、大隅キャンパスA館フレアホールにて、創立90周年を祝うイベントを行いました。秋晴れの下、大学関係者、在学生やその保護者、卒業生と共に歴史を振り返り、これから100周年に向けて心を新たにす1日となりました。

▶ 記念植樹セレモニー

E館北側緑地にソメイヨシノを植樹。



▶ 式典プログラム

- 開会宣言 (崎田常務理事)
- 演目 (チアリーダー部・吹奏楽総部)
- 式辞 (藤本理事長)
- 祝辞・祝電披露
- 各界で活躍する卒業生から寄せられたメッセージのメドレー映像
- 90周年のあゆみをまとめたスライドショー
- 記念講演 (角 和夫様 / 阪急阪神ホールディングス代表取締役会長兼グループCEO)
- 謝辞 (山本学長)
- 学歌斉唱 (在学生、卒業生混合のグリークラブ)
- 閉会宣言 (崎田常務理事)

司会: 達 淳一氏 / 気象予報士・俳優 (71回卒)

▶ その他イベント

- 大樟会総会・ゼミ懇親会
- 課外活動表彰式・壮行会
- マジックショー:
ジョン・道阪氏 / プロマジシャン (76回卒)
- ビンゴゲーム



◀ 式典のアーカイブ配信はこちらから

<https://www.osaka-ue.ac.jp/information/news/detail-7116.html>

※視聴期間は2023年3月31日(金)まで

90周年記念広告

2022年9月1日(木)～10月2日(日)

創立90周年記念広告「そして、100周年につなぐ。」を、東京駅、新大阪駅、阪急大阪梅田駅のデジタルサイネージ等にて展開しました。全日本大学駅伝や出雲全日本大学選抜駅伝などに出場した本学らしく、この先の100周年につなぐ想いを「駅伝の襷(たすき)」に込めています。



DAIKEI 90th EVENT

90周年記念講演会 「公共共創社会へ～VUCAの時代～」

全5回

90周年記念講演会「公共共創社会へ～VUCAの時代～」を開催しました。Society 5.0やSDGsの実現、成長と分配の好循環、地球環境の課題をテーマに社会課題の解決に取り組む専門家・企業家を招聘し、在学生や卒業生の皆様をはじめ、地域・一般の皆様無料で受講いただきました。受講者数は延べ1,400名となり盛況で、「ここだけの話がたくさんあり楽しかった」「時間オーバーしても気付かないくらい楽しい時間でした」など感想が寄せられました。



第1回

「動き出す関西」

- 蔭山 秀一氏
株式会社ロイヤルホテル
代表取締役社長



第2回

「サステナビリティから リジェネレーションへ」

- 石坂 典子氏
石坂産業株式会社
代表取締役社長



第3回

「デザインは 公共のために」

- 水戸岡 鋭治氏
ドーンデザイン研究所
主宰



白鳥真太郎 撮影

第4回

「ニューノーマル時代 ～北海道東川町の挑戦～」

- 隈 研吾氏
建築家、東京大学特別教授・
名誉教授



photo©J.C. Carbonne

第5回

「大阪が 世界を動かす時代 ～大阪ブルー・オーシャン・ ビジョンとは～」

- 小泉 進次郎氏 / 衆議院議員
- 西川 きよし氏 / タレント



DAIKEI 90th EVENT

創立90周年記念「TEDxOUE」

2022年9月30日(金)

アメリカ発祥の非営利団体「TED」が展開するプレゼンテーションイベント「TEDx」を学生が企画・運営し、創立90周年の記念日である2022年9月30日に「TEDxOUE」として開催。多方面で活躍する卒業生と、在学生、教職員の5名が登壇し、自らの体験に基づくスピーチを行いました。

▶ 登壇者

- 金井 善哲氏 / 元・米プロバスケットボール選手(本学経済学部卒業生)
- 原田 真緒氏 / プロユニット／タレント(本学経営学部卒業生)
- 中谷 友哉氏 / 「Trans Mate」代表(本学経営学部4年生)
- 岡島 成治氏 (本学経済学部准教授)
- 篠山 美季氏 / キャリアカウンセラー(本学経営学部卒業生)



DAIKEI 90th EVENT

記念展示会

2022年9月21日(水)～12月22日(木)

A館 KEIDAIギャラリーにて、昭和・高商時代の校章や「時の鐘」など、本学の歴史を物語る品々を特別展示しました。

● 90周年記念展示3Dウォークスルー

WEB上で展示会場内を実際に歩くかのように、リアリティある3Dで展示物を自由な位置、自由な角度から閲覧いただけます。 ※視聴期間は2023年3月31日(金)まで
<https://my.matterport.com/show/?m=M3DUFernNgQ>



大樟会だより

2023
FEBRUARY

支援総数24,000食突破！

在学生への食の支援 継続中

始まりは、1人の大樟会常務理事が目にした地方新聞の写真でした。そこには、ある大学の学長がコロナ禍で苦しむ学生たちのために、食材を無料で配る姿が写っていました。ほとんどすべての活動がストップした大樟会が、今何をなすべきかの答えがそこにありました。食材の提供より、もっと直接的な食の支援ができないか、との意見ができました。幸い「経大サービス」さんが教職員向けのお弁当販売を始められていたので、これをアレンジして、2020年6月24日から8月31日まで「つながる力。弁当」を無料配布しました。大樟会は、今後も在学生への食の支援を継続します。



▲第9弾は大樟パン&スープセットを100円で提供(大学生協)【期間】2023.1.10~1.24

過去の学生支援メニュー

第1弾

日替わりお弁当を無料配布
(経大サービス)【期間】2020.6.24~8.31

第2弾

大樟うどんを50円で提供
(大学生協)【期間】2020.12.14~2021.1.26

第3弾

日替わり弁当を無料配布
(大学生協)【期間】2021.6.7~7.28

第4弾

大樟和風ラーメンを50円で提供
(大学生協)【期間】2021.6.21~7.28

第5弾

日替わり弁当を無料配布
(大学生協)【期間】2021.10.18~12.17

第6弾

大樟からあげうどんを50円で提供
(大学生協)【期間】2022.1.11~1.24

第7弾

日替わりランチボックスを100円で提供
(経大サービス)【期間】2022.6.22~7.28

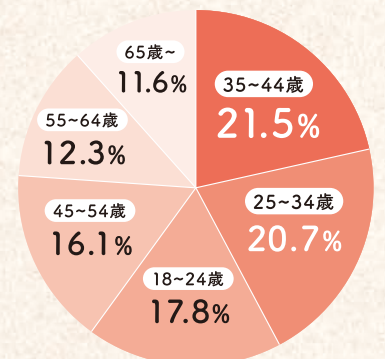
第8弾

日替わりランチを100円で提供
(経大サービス)【期間】2022.10.3~12.23

大樟会ホームページアクセス状況をお知らせします。

ページタイトル	閲覧数	ユーザー数
大阪経済大学大樟会(同窓会)トップページ	21,319	4,954
学歌・道遥歌	4,010	563
同窓会誌 澁江	3,716	1,031
年間行事予定	3,712	938
支部・各種部会・OB会一覧	3,706	1,354
大樟会とは	3,617	1,283
NEWS一覧	2,704	567
卒業生インタビュー:公認会計士試験に3回生で合格し、監査法人へ就職!	1,404	1,257
大阪経済大学・大樟会の歴史	1,136	807
卒業生インタビュー一覧	1,112	581
合計(計測期間:2022.1.1~11.30)	69,023	10,690

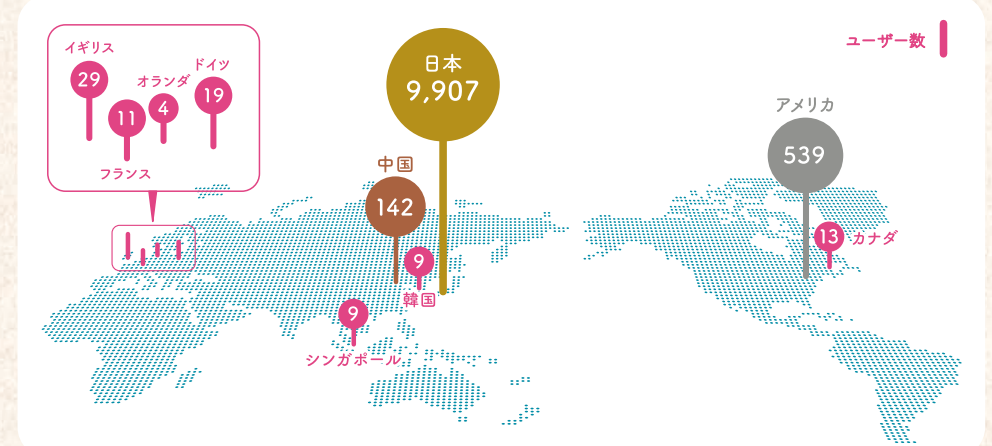
ユーザー属性



懐かしい『学歌・道遥歌』が大人気でした。若い層が多いのには驚きました。

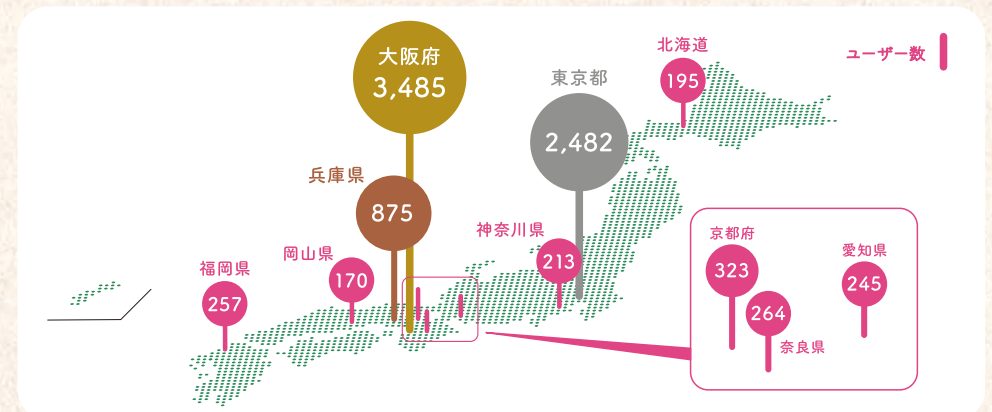
国別アクセス

1 日本	9,907 ユーザー
2 アメリカ	539 ユーザー
3 中国	142 ユーザー
イギリス	29
ドイツ	19
カナダ	13
フランス	11
シンガポール	9
韓国	9
オランダ	4



国内地域別アクセス

1 大阪府	3,485 ユーザー
2 東京都	2,482 ユーザー
3 兵庫県	875 ユーザー
京都府	323
奈良県	264
福岡県	257
愛知県	245
神奈川県	213
北海道	195
岡山県	170



※ユーザー属性のみ7月からの計測となります。 ※属性を非表示にしているユーザーは計測されていません。

海外からは、アメリカが留学生の多い中国を抑えて断トツの1位でした。国内では東京が大阪に次ぐ2位に食い込みました。熱き母校愛に溢れる仲間たちがこのホームページでつながっています。海外や全国各地で活躍されている卒業生が多数おられます。今後も「経大サービス」さんに協力いただき、より充実したホームページをお届けしますのでご期待ください。



ホームページ立ち上げ時からお世話になっている田中雅子さんです。

QRコードからアクセス▶

https://www.osaka-ue-denko.com

大阪経済大学 大樟会

検索



学内行事

直木賞作家今村翔吾氏トークセッション 「今村翔吾のまつり旅 in 大阪経済大学」開催



2022年7月8日(金)、トークセッション「今村翔吾のまつり旅 in 大阪経済大学」を開催しました。直木賞作家の今村翔吾さんは、「今村翔吾のまつり旅」と題しワゴン車で47都道府県を巡るチャレンジを行っています。大阪滞在中の訪問先の1つとして本学にお越しいただき、在学生に「夢を実現することの大切さ」についてご講演いただきました。

講演では、作家になるきっかけや直木賞を受賞するまでといった貴重なお話のほか、学生に「チャンスは平等にやってくる。けれど見て見ぬふりしてチャンスを逃す人が多い。チャンスが来たときは言い訳せずにどんどんチャレンジしてほしい」と熱いメッセージをいただきました。



学内行事

第74回大樟祭 「私たちが創りあげる 一瞬の青春を、一生の宝物に。」

2年ぶりに対面で大樟祭が開催されました。学内募集に応募した学生でつくる大樟祭実行委員が中心に企画・運営。オープニング仮装行列から始まり、スタンプラリーや男装女装コンテスト、お化け屋敷といったイベントの他、生駒里奈トークショーやNovel brightスペシャルライブも行われました。模擬店もズラリと出店。学生による学生のための大学祭は多くの来場者で賑わいました。

学内行事

万博講座「いのち輝く 共創社会」開催

本学では、大阪・関西万博を通じた地域との交流促進を目的にした万博講座を2019年より開講しています。2022年度は、10月15日(土)にフレアホールにて万博講座「いのち輝く 共創社会」を開催し、学内外から236名の聴講者にご来場いただきました。

第1部

ジャパネットたかた創業者・ 高田明氏の基調講演

講演テーマは、「私の人生を大きく変えた出会い〜夢持ち続け日々精進〜」。高田氏は、これまでの人生で得た気づきを踏まえて、先行きが不透明な時代を生きるヒントとして、「起こったことを受け入れて解決のために知恵を絞る」「過去にとらわれず、自分のできることに力と時間を集中し、今を生きる」ことが大切だと助言しました。

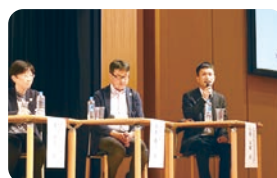
第2部

パネルディスカッション 「いのち輝く共創社会」

森栄子氏(2025年日本国際博覧会協会 機運醸成局地域観光部 審議役兼観光推進課長)、伊藤真人氏(株式会社パソナグループ 常務執行役員)、内橋洋喜さん(情報社会学部4年生)の3名をパネリストに迎え、「いのち輝く共創社会」をテーマにパネルディスカッションを実施。個人や地域、社会で継続して共創していくためのヒントや考えなどを語り合いました。



高田氏の基調講演



パネルディスカッション

学内行事

第2回学内動画コンテスト「ようつべ祭」

学内動画コンテスト「大阪経済大学ようつべ祭」の授賞式が2022年12月23日(金)に行われました。

エントリー作品の中から企画動画部門、ショート動画部門から各賞が発表され、受賞者には山本学長から記念の盾が贈られました。

企画動画部門

グランプリ

大樟祭実行委員
(再生回数賞も同時受賞)

優秀賞
竹園 龍斗さん

サムネタイトル賞
学生広報隊

ショート動画部門

竹園 龍斗さん

みずいさん

萩森 仁さん

ようつべ祭
YouTube
チャンネル



国際交流

留学生歓迎会を開催

新入留学生を歓迎する気持ちを込めて、在学生による「留学生歓迎会」を2022年9月28日(水)に開催しました。2022年度秋学期の新入留学生は、ベトナム、台湾、中国、韓国からの交換留学生が5名と、秋入学の中国からの大学院生・研究生が5名の合計10名です。歓迎会では、新入留学生の自己紹介の後、留学生と在学生を交えてフリートークの時間を設けました。最初は緊張していた様子の新入留学生たちも次第に打ち解け、在学生と親睦を深めました。



SOUHATSU

news & topics

クラブ活動

体育会サッカー部 上野輝人選手 FC岐阜(J3)来季加入内定

サッカー部の上野輝人選手(経済学部4年)がFC岐阜(J3)に新加入することが内定しました。上野選手は「小さい頃からの夢だったプロサッカー選手をFC岐阜という素晴らしいクラブでスタートできることを嬉しく思います。応援してくれる皆様に一日でも早くピッチで恩返しできるように日々の練習から全力で頑張ります」と意気込みを語りました。

クラブ活動

体育会硬式野球部 才木海翔選手 オリックスバファローズに入団

2022年プロ野球ドラフト会議にて、硬式野球部の才木海翔投手(情報社会学部4年)がオリックス・バファローズから育成選手として2位指名を受けました。才木投手は、本学80周年記念ホールで記者会見に臨み「とにかく指名をいただけて嬉しい。練習を重ねてチームに貢献できるような投手になりたい」と心境を語りました。

株式会社日本政策金融公庫大阪支店と 産学連携基本協定締結

本学は、日本政策金融公庫大阪支店と産学連携基本協定を締結しました。2022年10月21日(金)に調印式を開催。本協定は、主に大阪府内の企業を対象として、地域課題の解決に関する研究成果等を社会に還元すること及び地域の産学連携を推進し、地域経済の発展、産業振興、人材育成に寄与することを目的としています。

連携協定



連携協定

かみしんプラザと産学連携協定締結

本学は、学生や地域の方が頻繁に利用するショッピングセンター「かみしんプラザ」と産学連携協定を締結しました。東淀川区上新庄地域の社会のより一層の発展を目的として、相互に協力し産学連携活動を実施、推進します。今後かみしんプラザでは、学生・教員によるイベントや展示企画、ワークショップ、実証実験などを行う予定です。



2022年度卒業式・学位授与式のご案内

日時

2023年3月18日(土)

〈午前の部〉10:00～、〈午後の部〉13:00～

会場

**70周年記念館(A館)
フレアホール**

午前の部 経済学部・人間科学部・経済学研究科・人間科学研究科

午後の部 経営学部・情報社会学部・経営学研究科・経営情報研究科

- ・式典は対面開催とし、保護者の参列・入場制限も設けませんが、新型コロナウイルス感染拡大状況により、プログラム等を変更する場合がございます。
- ・当日はWEB中継を実施し、3月末日を目途にアーカイブも残す予定です。